

小林：防災分野の研究も力を入れているとお聞きしましたが？

塩尻：やはりこの地域は南海トラフ地震が想定域なので、意識が高いんです。2008年に大学内に防災総合センターが設置され、防災教育、防災研究を進めていて県内の地震だけでなく、大規模自然災害について、災害の発災の原因の解明から、その後の対応を含めて、全学的にセンターが対応しています。教育的なところに関しては、全学部の学生に対して新入生セミナーの中で、全学的に防災についての啓発をしつつ、授業で、地震防災という全学教育科目があるんです。



寺内：それは必修ですか？

塩尻：学生が多く、必修で展開するのは大変なので選択ではあります。この授業は行政の実務を担っている静岡県の職員の方や、災害現場で取材経験のある実務者である学外の専門家を交えて授業を構成して、災害のメカニズムや、被害低減の方法などを学生たちは学んでいます。2025年度には416名の学生がこの授業を受講したので、かなりの学生が受講したことになります。防災に関係するような授業を全部まとめてパッケージにした特別教育プログラムもあります。

寺内：おもしろ！



塩尻：それが「静岡大学防災マイスター」という防災特別教育プログラムで、12 単位の授業があるので、ハードルは高いんですけど、毎年 15 名弱くらいが、防災マイスターの特別教育プログラムを取って卒業しています。

小林：具体的に何を学ぶんですか？

塩尻：災害時に自分、他人の命をどう守るか、災害後の対応、生活などの必要最低限の防災の知識や、スキルを身につけてもらおうという観点で授業を展開しています。

小林：めちゃくちゃ重要ですね！

寺内：知識増やすだけじゃなく、命を守るためにやっているのが素晴らしい。

塩尻：そういった純粋な気持ちから学生たちも授業を取っているんですけど、就職にもいいですね。

寺内：就職にも生きるんだ！

出典：ニッポン放送 NEWS ONLINE 受験生を“みんな“で応援！『おうえんしナイト』 公開：2026.04.10

キャリアデザインで“みらい”を描く！ 自由と教養を重んじる、静岡大学にてランパンプスが徹底取材！

参考 URL：<https://news.1242.com/article/544857>